



宇治市議会議員 Kenichi Hirata

平成 9年 4月 2日 第 3種郵便物認可

ひらた研一

民主

PRESS MINSHU

号外
2005.11.1

市議会ニュース Vol.05

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
TEL 03-3395-9988(代表)
http://www.dpj.or.jp

ひらた研一事務所

宇治市木幡南山 15-200
TEL&FAX: 0774-33-8199
E-mail: hirata@wao.or.jp
http://www.wao.or.jp/hirata/

911衆議院選挙ショック

Hirata Kenichi City Assembly News Vol.05 HEAD TOPICS

います。その中でも争点設定の失敗は致命的でした。さらに公務員への反感をある作戦、公務員労働組合から支援

参議院での郵政民営化法案否決を受け8月8日小泉首相は衆議院を解散し、小泉劇場は幕を開けました。幕が開いたとたん逆風といつより嵐に巻き込まれたような一ヶ月間の選挙戦、そして運命の9月11日、幸いにして宇治市のある京都6区は皆さま方の良識あるご判断により、山井和則さんは無事三選を果すことが出来ました。しかし全国的に見れば、京都は健闘しましたが、民主党の惨敗に終わりました。敗因についてはマスコミ等で報いられている内容全て当たっていると思

を頂いている民主党は郵政民営化反対「改革に反対する政党」といつレットルを張られ改革への抵抗勢力として位置づけられました。議席の上では確かに自民党は圧勝しました、しかし2年前に行なわれた前回総選挙に比べ自民党が得票率を伸ばしたのは小選挙区で4.0%、比例区でも3.2%に過ぎません。つまり、有権者の25人、30人に二人が支持政

党を変えただけです。実際に政党の得票率は自民党47.8%、民主党36.4%(前回総選挙から0.3%のダウン)。しかし小選挙区の獲得議席数は自民党73.0%、民主党17.3%と大差がつかました。問題なのは、全く議席に反映されなかった死票が2247万6千票(比例復活は含めていません)もあつたという事です。これは現行選

挙制度の大きな課題です。民主政治は健全な与党と野党の競争によって成り立つと言われています。いつまでも野党でいるつもりはありませんが、反省すべき点は猛烈に反省し、民主党を立て直さなければなりません。民主政治を取り戻し日本再生に本気で取組もうとしている前原誠司新代表(京都2区)と丸となつて頑張ります。

安全・安心なまちづくり 01

リフォーム詐欺に関するトラブル

生活の基本である、家に関するトラブルがいま増えています。代表的なトラブルについて、Q&A方式で分かりやすく解説してみました。

Q リフォーム詐欺とは?

A 屋根の無料点検や住宅の耐震化などを口実にしつこい勧誘を繰り返し、点検をした後高額なリフォーム工事を契約させるといった被害です。特に認知症のお年寄りに対して複数の悪徳リフォーム会社が複数の工事を次々に契約するといった被害が多発しています。点検商法、工事内容など詳細記載のない契約書、効果のほとんどない耐震補強工事などが問題となっています。

ひらた研一の考え

社会問題となっているリフォーム詐欺被害の一部は認知症のお年寄りですが、それ以外でも、トラブルに巻き込まれても相談する人が身近にいないため泣き寝入りしたということも聞きます。これは少子高齢化により老人だけの世帯が増えている事と近所付き合いが希薄になった事が大きな原因だと私は考えています。確かにわずらわしい事もあるでしょうが自分の安全は自分達で守るためにも、「無防備」「孤独」「無関心」に陥らないようにする必要があります。それには地域コミュニティの復活、ご近所との親密な付き合いが不可欠となってきます。これからは地域ぐるみでの防犯意識の高揚や防犯情報の提供が必要です。

次号では、アスベスト問題とシックハウス問題を取り上げようと考えています。ご意見やご相談がございましたらご一報下さい。

なお下記対策については宇治市のホームページにも詳しくのっていますので参考にして下さい。

- ・アスベスト対策:【トップページ (中央下段のトピックス)アスベスト関連資料】
- ・シックハウス対策:【トップページ 防災・まちづくりと環境 シックハウス対策について】

Q 対策には?

A こんな言葉にご用心!! 「無料で屋根瓦(換気扇・床等)の点検をさせていただきます。」 「屋根にアスベストが使われています。屋根に上がらせてほしい。」 「耐震補強工事をご近所ですしています。」 「大変です。お宅の外壁にひびが入っています。」

2005年 6月 定例会報告

1 市民主体のまちづくり

総務省は公共施設の廃止を含め管理の有り方を見直すよう強く求めています。

指定管理者制度の導入について

公・民が公正な競争が出来る環境にあるのか？
民のアイデアが活かせる環境整備はできているのか？
公から民へ替わった場合、公（公社等）の職員処遇はどのようになっているのか？

4年後に公募する事を基本に課題の整備に取組んでいる
公社で直接雇用している職員の問題は基本的に
公社の問題である。

指定管理者制度導入について、本市の取組みが遅れていることを昨年9月の定例会の一般質問で指摘しました。しかしその後一向に取組まず、いよいよ国が定めた期限が迫ってきたため慌てて条例改正を行いました。つまり本市の指定管理者制度は十分に検討されたとは思えず、本当の意味での施行は4年後に先送りされました。

指定監理者制度とは（総務省HPより）

「公の施設」の管理運営主体については、公共性の確保の観点から、地方自治法により公共的団体等に限られています。管理委託制度が地方自治法の一部を改正する法律が平成15年6月13日公布、同年9月2日から施行され、民間事業者にも管理運営を委ねられるようにする指定管理者制度が設けられました。これにより、管理委託をしている「公の施設」については、施行日から3年以内平成18年9月1日まで（に、原則として指定管理者制度に移行すること）となります。

【ひらた研一の見解】

質 問

「コミュニティビジネスについて
経済産業省の報告書によると、景気の低迷が長引く中、地域経済の新たな担い手として「コミュニティビジネス」の果す役割に関心が高まっている。しかし本市では市民・市職員に殆ど認知されていない。この実情についてどのように認識しているのか？」

答 弁

これからの行政課題であり、大きな役割を果すものと考えている。

地域で必要とされる社会的サービスは、行政部門と企業部門を中心に提供されてきました。しかしこれからの地方自治体の財政は楽観できるものではなく、「コミュニティビジネスとは、事業性」に加え、地域での「共生・共益」の視点を持ち、市民主体のまちづくりに取組む事を考えた場合、期待に心えつる事業手法です。

「コミュニティビジネスとは（経済産業省の報告書より）

「地域住民が中心となって、地域が抱える課題を、ビジネスとして継続的に取組むことにより、地域の問題を解決し、新たな雇用を創りだして、地域を活性化する事業」

【ひらた研一の見解】

その他、福祉行政と大久保小学校改築工事について質問しました。
項目（要点）だけご紹介いたします。（詳細は手治市議会のHPをご覧ください）

【ひらた研一の見解】

質 問

3

【ひらた研一の見解】

質 問

2

福祉行政について

保険者の責務についてどのように考えているのか？
府・市連携について
介護サービス事業所の質について
介護予防について

サービスが選べる時代になると言われた介護保険導入から5年が経過、当初の予定通り10月1日から制度が見直しされまし
た、しかし介護施設の絶対数不足は解消されず、利用者が介護施設を選択するには程遠い状況が続いています。このような状
況下であっても、市は保険者として利用者にはきめ細かい配慮
を行い、介護サービス事業者に対しては適切な指導が出来る
のかと問えば、未だに不満や疑問の声が聞こえてきます。保険
者としての責務は重大です。

大久保小学校改築工事について

耐震化について
防犯対策について
化学物質対策について

質問時には大久保消防分署との合築話は浮上していなかった
のですが、私はこの時にも設計の進め方に注文をつけています。
「開かれた学校」を目指すのであれば時間は掛かってても、設計時
から教職員・児童や保護者そして地域といった多くの方に関わ
って頂き、住民参加による学校建築を行なう必要があると指摘し
ました。9月定例会でもそうでしたが、この混乱の原因は情報公
開不足・説明不足にあります。



平田 研一

活 動 日 記

(2005年1月～6月)

1 月

- 4日 宇治市年賀交換会
- 宇治駅前街宣活動
- 7日 12月定例会 自治労旗開き
- 8日 宇治市消防出初式
- 9日 東宇治コミセン新春の集い
- 10日 宇治市成人式
- 12日 宇治市長へ会派予算要望
- 13-14日 12月定例会 一般質問
- 14日 連合京都旗開き
- 16日 鹿児島県人会新年会
- 17日 12月定例会 一般質問
- 20日 市民環境常任委員会
- 24日 民主党第6区幹事会
- 26日 12月定例会議案審議
- 議会だより編集委員会
- 31日 民主党第6区総会

2 月

- 3-4日 市民環境常任委員会行政視察
(静岡市・袋井市)
- 14日 民主党府連政策調査委員会
会派行政視察(綾部市・舞鶴市)
- 15-16日 議会だより編集委員会
- 18日 民主党第6区幹事会
- 20日 3月定例会・招集日
- 22日 3月定例会・招集日
- 23日 3月定例会・全員協議会
- 24日 議会だより編集委員会
- 26日 民主党京都府連幹事会
- 28日 3月定例会・一般質問

3 月

- 1日 市政記念日
- 2-3日 3月定例会・一般質問
- 5日 民主党第6区幹事会
- 8日 市民環境常任委員会
- 11日 木幡中学校卒業式
- 3月定例会・議案審議
- 12日 東木幡地区連絡協議会・総会
- 13日 スポ少活動・宇治翔アドバン卒団式
- 14日 御蔵山学区福祉委員会行政懇談会
- 17日 木幡幼稚園卒園式
- 18日 宇治小学校卒業式
- 27日 木幡喜老会総会
- 28日 3月定例会・特別委員会
- 30日 3月定例会・議案審議
- 議会だより編集委員会

4 月

- 2日 大阪のNPO法人総会で講演
- 7日 宇治小学校入学式
- 8日 木幡中学校入学式
- 11日 木幡幼稚園入園式
- 14-15日 会派視察(東京・国会)
- 17日 民主党第6区幹事会
- 22日 議会だより編集委員会
- 民主党府連政策調査委員会
- 25日 市民環境常任委員会
- 28日 議会だより編集委員会

5 月

- 1日 メーデー
- 8日 市民総体開会式
- 10日 精華町議員選挙応援
- 13日 車田地域行政懇談会
- 19-20日 臨時議会
- 21日 NPOフォーラム
- 23日 東宇治高校PTA総会
- 30日 議員全員協議会

6 月

- 5日 御蔵山学区福祉委員総会
- 7日 民主党府連政策調査委員会
- 9日 6月定例会・招集日
- 12日 ひらたネット親睦会『芋煮会』
- 13日 6月定例会・議案審議
- 16-17日 6月定例会・一般質問
- 20日 6月定例会・一般質問
- 23日 建設水道常任委員会
- 24日 市立幼稚園連合育友会
行政懇談会
- 25日 民主党府連政策調査委員会
- 26日 うじ大好きネット総会
- 山城PTA指導者研修会
- 28日 6月定例会・
議案審議 編集委員会

「温かみのある政治」のために!



衆議院議員 山井 和則 (宇治市在住)



3期目当選直後の山井和則衆議院議員(9月1日)。

皆さん、こんにちは。平田研一さんが市会議員になられて、早や2年半です。平田さんは、外見に似合わず(?)、「超仕事人間」です。この2年半、ほとんど二日も休まず、朝早くから晩遅くまでひたすら、市民の皆さんのために働き続けておられます。

私も衆議院議員に当選させて頂いて5年。政治活動を始めて10年になります。この10年間、平田さんにずっと支えて頂きましたが、更に、この2年半は、平田さんの市議会での熱心な仕事から、多くのことを学ばせて頂きました。

さて、おかげさまで私もさる9月に3期目の当選をさせて頂きました。小泉ブームという逆風の中で、何とか当選できたことに重い責任を感じています。

また、京都の前原誠司衆議院議員が、民主党の新しい代表に就任しました。前原さんと私は、松下政経塾の同級生で、20年来の親友です。今から

20年前、24歳の時に、私と前原さんは一緒に松下政経塾を受験しました。松下政経塾は、今は亡き松下幸之助塾長が、「政治を変えなければ日本は良くならない」「経営感覚のある政治家を!」という思いで創設しました。松下政経塾を受験した前夜、宿舎で、前原さんと語り合いました。前原さんは、「21世紀の日本の外交と安全保障を背負って立ちたい」と言い、私は、「21世紀の日本の福祉を良くしたい」と言いました。

その日から20年が経ち、共に国会で仕事をしています。前原代表は、「小泉首相と『小さな政府』を競い合うことはしない。税金の無駄遣いは徹底的になくすが、医療・年金・介護・教育は手厚くして、『温かみのある政治』を実現する」と言っています。

私はこの「温かみのある政治」のために、前原代表と共に働きます。3期目に私は、「厚生労働委員会の理事」という役割に就きました。これは、年金・医療・介護・障害者福祉・雇用などを議論する厚生労働委員会の民主党ナンバー2の役職です。

次の5つが私の仕事です。アスベスト安全対策法案の作成、障害者自立支援法案の民主党の「対案」の作成。年金改革の与野党協議、来年度国会の焦点である医療制度改革の民主党案の作成。高齢者虐待・介護者支援法案の作成。

安心して暮らせる宇治市と日本を創るために、これからも平田さんと共に頑張ります。

人事(議会・行政特別職)のお知らせ

宇治市議会では4年の任期を前後期(2年毎)に分けて役職人事を行います。

民主市民ネット関係では、前期議長の矢野友次郎さんが退任
長谷川雅也さんが副議長、小牧直人さんが議会運営委員長、
田中美貴子さんが農業委員

私は、建設水道常任委員会副委員長に就任

行政特別職関係では
助役(副市長):中谷継伸さん就任、原田和久さん退任
教育長:石田肇さん就任、谷口道夫さん退任
水道事業管理者:松本光夫さん就任、奥村茂さん退任

編集後記

当初8月末の発行を予定してましたが、衆議院解散・総選挙の影響で2ヶ月遅れてしまいました。すでに季節は秋、大久保小学校と消防分署との合築問題で荒れた9月定例会は与党派の付帯決議を採択して閉会、今後の市の対応に注目です。個人的には市議の任期も残すところ1年半となり選挙公約の検証を始めています。初心を忘れず頑張っているつもりですが未達成な内容も多く反省中!